



第21-81号

2022年3月29日

踏切のイメージアップと利用価値を創る新たな取り組み

3月30日、秦野市内で「踏切ネーミングライツ」の実証実験を開始します

～東海大学前1号踏切を「はだのモーピク踏切」とし、広告としての利活用について検証～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、踏切のイメージアップと新たに広告として有効に活用することを検証するため、2022年3月30日（水）から9月30日（金）まで、神奈川県秦野市内の東海大学前1号踏切の愛称を「はだのモーピク踏切」とし、「踏切ネーミングライツ」の実証実験を行います。

踏切は、安全確認のために自然と足を止めていただける場所で、電車が通過するまでの間、ご利用の皆さまにお待ちいただく場所でもあります。本実証実験では、秦野市に協力いただきながら、踏切のイメージアップと広告媒体としての可能性を検証します。

期間中、東海大学前1号踏切の愛称を「はだのモーピク踏切」と名付け、皆さまに親しみを感じていただける愛称板や、秦野市の公式動画チャンネル「はだのモーピク」へリンクする二次元コード付きの広告を掲出します。実証期間における動画視聴数等の動向を踏まえて、展開の拡充を検討します。



東海大学前1号踏切



掲出する愛称版など(イメージ)

この実証実験を通じて、将来的には地域の商店や個人事業主の方をはじめとする地域の方々に、踏切を広くPRする場としてご利用いただけるような制度設計を目指します。また、踏切自体のイメージアップにより、お待ちしております時間の心のゆとりや周囲への見守りなど、踏切の安全性向上にも期待しています。

「踏切ネーミングライツ」実証実験の詳細は下記のとおりです。

記

- 1 実証期間 2022年3月30日（水）～9月30日（金）
- 2 実証場所 東海大学前1号踏切（所在：神奈川県秦野市南矢名1-14-1先）
- 3 実証目的 踏切のイメージアップと広告としての利活用に関する検証
- 4 検証方法 秦野市に協力いただき、東海大学前1号踏切の愛称を「はだのモーピク踏切」とし、親しみを感じていただける愛称板を掲出するとともに、秦野市の公式動画チャンネル「はだのモーピク」へリンクする二次元コード付きの広告を掲出します。
この動画チャンネルの動画視聴数等の動向から、有効性を検証します。

以上

【参考】「はだのモーピク」について

秦野市公式 YouTube チャンネルで市の最新情報や観光スポットなどを紹介しており、現在は400本以上の動画を公開しています

こちらから、アクセスいただけます →



はだのモーピクイメージ画面